

令和4年度第1回佐久市地域公共交通確保維持改善協議会
兼 佐久市地域公共交通会議 会議録

日時：令和4年6月27日（月）

14:00～15:10

場所：佐久市消防署講堂

1 開会

田原副会長より開会宣言

2 あいさつ

花里会長よりあいさつ

3 報告事項

(1)佐久市公共交通の利用実績報告

事務局より「佐久市公共交通の利用実績報告」【資料1】の説明

(2)デマンド交通「さくっと」実証運行の経過報告

事務局より「デマンド交通「さくっと」実証運行の計画報告」【資料2】の説明

委 員 この4月から5月とその前、相乗率はどれくらいか。

事 務 局 約1.6人という状況であった。

委 員 運行回数が約7000回のうち何回の運行が相乗されていたのか。

事 務 局 相乗りが発生した回数という形でのデータはとっておらず、利用者数から運行回数を除して算出した数値を「平均乗合率」として約1.6人と求めている。現在保有しているデータから、相乗り発生回数を算出できるか確認する。

委 員 同時に3人、4人利用される場合もその1.6人の中に入っていると思われる。相乗が成立している割合というのはすごく重要なこと。相乗が成立していないならば、どのように相乗を成立させていくかというのがまず次の段階である。

予約不成立件数について、自宅前乗降によって多少変わってきているのかという話があり、予約する時間が当日の乗車する1～2時間前でよくなったという事だが、この方たちが不成立になっているのではないか。

事務局 予約不成立理由の内訳としては、前日までに予約された方で運行予定が埋まっていて予約不成立になったというケースが多い。

委員 今までは自宅前乗降をしていなかったから、停留所間を運行することに特化したシステム設定だったと推察する。どちらかという、ある程度時間が読める運行ということで設定されていて、利用時間がタイトだったのではないか。これが、自宅前運行をすることで運行時間がバラバラになってくる。乗車する1～2時間前の予約だと入らないというのは、おそらく前日までの予約により時間が固定されてしまうことで、予約を入れられる時間がないからではないか。設定に少し余裕を持たせることが必要。将来的にはもっと時間直前までの予約が可能な方向に少しずつ整備していきたいところ。設定を見直ししていただきたい。

事務局 システム会社と相談しながら、調整していきたい。

委員 このシステムは、結局相乗する人を多くしていくことが重要である。そうすると経費が下がり、運行の効率が上がる。この相乗率というのがどういふものか聞きたい。

予約不成立という事はキャンセルしていると思うが、そもそも予約するのにナビダイヤルを用いており、キャンセルをするのにも通話代がかかる。この辺りの改善はできないのか。

事務局 相乗率については、どうしても予約される方は「何時までに行きたい」といった要望が出てくるため、その時間に先に予約が入ってしまうとその予約をずらせないという事がある。今後は、その部分の余裕率を調整しながら、うまく相乗になるようにシステム会社と検討していきたい。

キャンセルについても、すべて電話で受付しているが、ナビダイヤルを用いているので通話料については一般の回線よりは高くなっている。

主に利用する方が70代80代という中で、まずは電話でのシステムで始めている。今後は様々な手段での予約について検討していきたい。

委員 実証実験をやっているという事なので検証していかなければならない。

「検討します」で次のこの協議会の時にまたやっていけばいいではなく、色々なアイデアが出たり、不満などが出た時にちょっと変えてやってみると

いう事をしないと、実証実験の意味がない。どうやってその実証実験の中に組み込んでいくのか。

相乗率の件は、電話でやっているのでは運行状況がかわかない。また、運行ルートはどのようになっているのか。

事務局 相乗率向上のための調整に関しては、今後実証運行の中で行っていききたい。実証運行は今年度一杯ということ実施しているので、何かしら変えていききたいと考えている。

運行ルートについては、地元ドライバーの判断で効率的なルートの選択が可能である。

委員 民生委員をやっているが、訪問活動の際に、さくっとは自宅のところから乗れるというのがとても好評である。しかし、なかなか浸透していかないというところがある。直接お会いして説明する中では、一番は免許返納された方、障がいの方、元々運転をしていない方が多く利用している印象がある。特に病院へ行く需要が多い。地域の皆さんによりよい利用ができるような形でさくっとを伝えていきたい。

事務局 ご協力いただき感謝申し上げます。

4 会議事項

(1) 令和3年度 事業報告及び決算について

- ・事務局より「令和3年度 事業報告及び決算について」【資料3】の説明
- ・質疑はなく、承認された。

(2) 令和4年度 事業計画(案)及び予算(案)について

- ・事務局より「令和4年度 事業計画(案)及び予算(案)について」【資料4】の説明
- ・質疑はなく、承認された。

(3) 地域間幹線系統確保維持改善計画について

- ・事務局より「地域間幹線系統確保維持改善計画について」【資料5】の説明
- ・質疑はなく、承認された。

(4) 地域内フィーダー系統確保維持改善計画について

- 事務局より「地域内フィーダー系統確保維持改善計画について」【資料6】の説明
- ・ 質疑はなく、承認された。

(5) 佐久市地域公共交通計画(仮称)策定スケジュールについて

- 事務局より「佐久市地域公共交通計画(仮称)策定スケジュールについて」【資料7】の説明
- ・ 質疑はなく、承認された。

(6) デマンド交通「さくっと」今後の運行について

- 事務局より「デマンド交通「さくっと」の今後の運行」【資料8】の説明

委員 自宅前乗降について、これはルート上なのか、それともそこからどれだけ離れているところまでと決めているのか。

事務局 自宅前乗降はデマンド交通さくっとに限り実施しており、この定時便については自宅前では乗れず、停留所での乗降となる。

委員 小学生未満(未就学児)を自宅前乗降に追加するということが、現在の申込方法では、登録までに時間がかかると聞いているが、本人ではなくてもLINEを使って子どもの登録を簡単にできるようになっているか。

また、小学生未満(未就学児)が登録すると同乗者が自宅前乗降できるというよりは、保護者の同乗者が小学生未満(未就学児)なら自宅前乗降可とした方がよいのではないか。

事務局 登録状況は、若い方に関しては、LINEによる登録が多くなっている。その方が郵送などの時間も少なくなるため、そういった利便性の周知を図っていきたい。

小学生未満の方の登録については、予約時にコールセンターにおいて、毎回、同乗者確認をしなければならない点から、小学生未満の方にも登録をしていただいた方が、正確に「その者が小学生未満である」という判断ができることから、会員登録につきましては引き続き条件とさせていただきます。

委員 自分では予約をすることのできない小学生未満(未就学児)を登録するのは理解ができない。予約するにも親が行う必要がある。

事務局 母親が一人で利用する場合には自宅前で乗降はできない。しかし、小学生未満（未就学児）のお子さんがいる場合は停留所までの移動が危険であったり、荷物を沢山持っていたり、お子さんを抱えて移動する場合があることから、そういった場合に限り、自宅前まで迎えに行くという形である。以上のことも含め、どうしても未就学児について確認をするために会員登録をしたいということでご理解いただきたい。

5 その他

事務局より、下記の報告があった。

- ・路線バスの布施線・春日線について7時台の便について終点を望月バスターミナルまで延伸し、中仙道線との接続により利便性の向上を図りたいと考えている。小中学生も利用していることから、現在学校教育課と協議を進めている。8時台の便の運行については、利用者が少ないことから今後協議会に諮り、令和4年10月を目標に廃止をしたいと考えている。

6 閉会